

三重県連 訪問 議事録

開催場所	アストプラザ	日時：平成28年1月21日（木） 18:00 ~ 19:00	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 田沢

次第

- ① 開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④ 連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

■伴会長挨拶

今日は新年のお忙しい中お時間を頂きましてありがとうございます。三重にはもう何度も来ています。たくさんの思い出があります。次年度が始まる前橋まで来ました。2月の全国大会までしっかりとやっていきたい。よろしく願います。最初に事業について聞きたい。各単会さんのメインの事業だったりどんな団体とやっている。親会から、行政から委託を受けているなど。他団体さんとの交流なども含めて教えてください。

桑名：地元のまちおこしのために事業をやろうという事で昨年からやってきた。商工祭りは親会でやってきたが青年部でやろうという事になった。駅前商店街と。地元のメイン料理を出す。ハロウィンパレードも。参加型の一般の方も参加出来るような事業。歴史のある町なので保守的ではあるが新しい人たちと交流をして活動をしています。

四日市：7年目を迎える歴史の浅い単会です。続けている事業と新しい事業がある。会議所の会頭が県連の会長をされたときにスタートした。親会や地域に密着した青年部という事でスタート。市役所から繋がろうと。正副会頭との意見交換会を毎年やっている。ビジネスに関する事をやろうという事で今年取り組みを始めた。委員会を設置して。地域に積極的に活性をしようという事で触れ合う機会を作ろうと委員会を設置。工業高校とものづくりを通した触れ合いをした。他単会とのつながりも少ないので深めようという事でブロック関連の取り組みをしていこうと。委員会に分けて担当をしている。まだまだ集まりがよくない。

鈴鹿：設立30年目。93名。12回の例会。全体事業としてモータースポーツのまちとして有名なので地域と一緒に事業をしていきたい。バイクパレードが夏にある。前夜祭として600台のバイクを呼んでパレードをして17年目を迎えている。F1の時期には5年目のグランプリを開催。三重県連以外からも参加頂いている。認知度が上がってきている。モーター以外でも鈴鹿のいい物を伝えようと委員会を設置ブランディング委員会。山あり川有りなので。会員数の減少も考えていかなければいけない。100人を超えていきたい。

亀山：人数が少ないので会員増強が大事。会員で増強の話をする。親会と交流事業をしたり。メインとして花火大会の主幹。手作りの会場や打ち上げ場所の草刈りもやる。

津：30周年を迎えた。123名。仙台ができて間もないうちに全国をやった。津もそうだった。外へ目を向けて目立つことが好きな単会。会長研修会をしたときにOBが、女性会が助けてくれた。案内してくれたり。繋がりが強くて親会の議員も青年部のOBである。前会頭は初代の会長。6委員会。津祭り。

全体の実行委員会を立ち上げた。京都芸能に絡んだ獅子舞などの団体にも入っている。全体の実行委員会にも入っている。ジュニエコもやっている。周年の実行委員会も取り組んでいる。会員が減っているので会員拡大として20名入った。岡山は新しいメンバーは新入会員ばかりの委員会に入るという事でヒントを得た。出向者を委員長にしてやっている。

上野：76名。事業として春の忍者フェスの際の出店を駅前。夏のフェスタでも出店をしている。4つの委員会があるので担当例会がある。委員会が自分たちの好きな事をやる。ずっと20年以上同じ形でやっている。そこで色々なアイデアやイメージを培っている。ブロック大会も例会のアレンジだったりした。事業として一番大変なのが周年事業。他の単会と違い5周年きざみでやっているが式典はない。記念事業というものをやっている。事業を興す。予算がないので持って来たり利用したりと0から大きなイベントを作っている。周年が一番みんなが大変な時。5周年はお城サミットをやりCCガールズを呼んだ。10周年からはお金の手配からどうしようかとはじめ楽市楽座を歩行者天国にしてやった。15周年は400万もらってイベントをやった。20周年は忍びの館ということでつぶれたセットを借りてアミューズメントを開催。25周年は駅前の再開発の記念事業。400万円もらってやった。0からとにかく作る。次は30周年に向けてどうしようかと単会で考えている。

名張：納涼花火大会。市と観光協会と会議所でやっている。青年部として各事業者が屋台などだけではなく子供から参加が出来る参加型の祭りをやっている。毎年参加人数が増えている。ダンスコンテストを学校、教室から募集したら運動会のような熱気になった。0歳から参加できる浴衣コンテスト。モデルになりきるような感じ。婚活を3年前からやっている。2組成立している。3万人しかいなかった。近鉄電車で大阪まで50分になった時に8万人になった。今は減少している。名張に嫁いでもらおうと。女性を観光バスで案内し、市長がビデオで宣伝をする。今年からは補助がもらえるようになった。

松坂：25周年。県連の方にも多数来ていただいた。8つの委員会を設置121名。伝統や踏襲してきたものを整理しよう。企業の発展なくしてという気持ちなので自分たちの体力をつけようと。毎月例会をやる。事業も年会3回以上やると。問題点として地域にたいして出来る事がないかなと。大きな祭りに前は参加していたが時の会長の判断になる。10年続いた事業もなくなる事もある。あの事業は続けていけばよかったという意見もある。考えていかなければいけない。

伊勢：小学生のクイズ大会を継続している。日本YEGより祝電をもらったりありがとうございます。ブロック大会も開催した。外部の事業がないということで会員向けに取り組もうと。一回やってみたくて研修例会を昼間に開催しよう。夜の参加が難しい方に。成果はあった。スリープ会員を1つの委員会に束ねたが上手くいかなかった。単年度なので1年の間で思う事が出来るかは難しい所もあるが中長期的に良い所を取り入れ次年度以降につなげていきたい。5月に伊勢志摩サミットが開催される。親会でもチームが出来て出向している。国からの情報が降りてこない部分で進んでいないがこれから急ピッチにやっていくのかなと。終わった後も観光客の対応など行政と取り組んでいきます。

鳥羽：人口2万人を切りそう。45名の会員。実質24、5名でやっている。半数以上が20、30代。平均としては若い単会。事業は親会が観光の街なので力を入れている。観光事業をやっている。あつみ商工会青年部と4、5年に渡り共同で3月の6日に春祭り、鳥羽対あつみという事業をやっている。何かしらの勝負をしている。5番勝負。勝った方が開催地になる。去年は負けた。

伴：比較的多いのは婚活事業が多い。名張産以外はやっていませんか？

なし

伴：親会、行政からの要請が多い。独自開催もあるが。国の予算が38億くらいついている。結構予算がある。まちづくりの予算をそうやって取ってくる単会もある。各事業をやられている中で親会と仲が悪い所はありませんか？

津：ものすごい仲が良いです。

伴：中にはある。YEGの活動が良く思われていないところも。みんな頑張っている。今日も日商の常議員だったが、青年部がやっているんだなと思ってもらう事が大事。問題がある単会があれば私たちもアプローチしていきたい。会頭がOBだったときはどんどんやれというのが会頭が変わった時に対応が変わる時がある。そういう形も変えていきたい。色んな話を聞かせてください。県連会長を通して日本の役員会でも伝えてほしい。行政と仲が悪い所はありませんか？

なし

伴：これもけっこうある。JCは見てるけどYEGはいいという市長さんもいらっしゃる。1市に商工会が5あって商工会議所が複数あったり。倉敷なんてそう。行政が経済団体には平等に見ますよとなるときもある。三重は知事がばんばんですからね。各地ではそういう状況もあります。機会があるたびに話をしていきたいと思います。ブロックも3県連で回しますのですぐにきますよね。そうすると行政などともつながりが増えると思いますので何かあれば教えてください。メンバー数の話がありましたが、増えている所は？

津のみ

伴：全国では増えている。3万2千を超えるところ。単会数も410になった。地域差があるのかなと。人口5万人でも100人以上いる所もある。アプローチの仕方もあるのかなと。全国で聞くと街の規模が小さい所はあれもこれもやっているという話が多い。法人会もJCもYEGも入っている人がいる。機会があれば参考にして欲しい。会長研修会では街の規模で席割をした。各地で同じような所が多くある。県連会長からも聞いてほしい。全国でも機会があれば話をする時間を作りたい。要望はありませんか？日本YEGに対して。こんなことをやってほしいなど。各単会の事業の手助けになりたい。親会を通して地域に働きかけていきたい。出向者の活動の源になりますので。

津：資料の最初にYEGナビとあるが充実させてほしい。こういう手法があるんだとか勉強になるので。25年度に出向した時に受け継いだものの情報はどこにあるのか？ちょっとアレンジしたら単会でも使えるのかなと思うがその資料はどこにあるのか？

伴：YEG大賞の審査をしているが全国のメンバーに見て貰いたい。パクってもらっていい。そういう機会を作っていきたい。アクセスしやすいものにしたい。みなさんに発信をして頂きたい。窓口は県連会長や出向理事です。ジュニエコも会津若松が発信してどんどん広がった。各地で変則的に変わった形が出てきている。良い所はパクって地域にあったものにして欲しい。また、発信をして欲しい。全国大会が来月に迫っています。大会会長がいますので是非：

吉田：あと1ヶ月になります。各部会頑張って役割を果たしています。全国県連周らせて頂いて活動を実感する事ができた。全国はなんのためにYEG活動をするのかとなる。各地で頑張っているメンバーがお互いに活動をたたえ合い、披露しあい。まとまる場。3日間つづくものもあり、講演会も決まった。アーティストも決まっています。満足いただけるような用意をしていますので今までに来たことのないメンバーも誘ってください。私も今日3時間で着いた。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

伴：東海はあっという間にブロック大会がくる。それも1つの機会だと思ってください。名乗りを上げてください。津の大会も参考にさせて頂きました。伊勢の大会もそうでした。懇親会ではメンバーの店のつくりを作りましたよね？記憶に残っていて良かったなど。参考にした。各地の活動をどんどん発信してほしい。感じてほしい。津の大会のステイブジョブズはマネしないように（笑）色んな所を見てほしい。各地の思いを受け取ってほしい。あっというまに時間が過ぎてしまった。この後に懇親会でも参加させて頂きますので宜しく願います。今日はありがとうございました。